

対象	小学校中学年以上
教科	国語科
該当 単元	小学4年以上 読解力を付ける ・情報の整理
教科書	光村図書・教育出版等
掲載日	2019.8.31. 朝刊地域経済 12版

ゆったり座席 優雅な時間

近鉄 新型車両「ひのとり」



⑤ 報道陣に公開された「プレミアム車両」の座席。⑥ 記者会見で「ひのとり」の名称を発表する都司社長（いずれも大阪市内）

近畿日本鉄道（大阪市）が来年3月14日から近鉄名古屋―大阪難波間で走らせる名阪特急の新型車両「ひのとり」。30日に大阪市内で記者会見した都司尚社長は、「優雅な時間を過ごしていただける車両に仕上がった」とアピールした。スピードでは太刀打ちできない東海道新幹線に、快適な車内空間と乗車料金の優位性を売りに対抗していく考えだ。

（小西数紀）＝⑤面参照



ひの通りの座席間隔は、ハイクラスの「プレミアム車両」で、北陸新幹線などのグランクラス並みの百三十センチ。「レギュラー車両」も新幹線のグリーン車並みの百十六センチとした。すべての座席には、背もたれを覆う「バックシェル」を設け、後ろの座席の人に気兼ねせずに背もたれを倒すことができる。

東海道新幹線との競争では、スピードは圧倒的な差がある。新幹線の名古屋―新大阪間の所要時間が五十分程度なのに対し、名阪特急は最短でも二時間五分かかる。一方、乗車料金は名阪特急に軍配が上がる。全席座席指定のひの通りの料

金は高額のプレミアム車両でも五千二百四十円なのに、東海道新幹線の名古屋―新大阪間は自由席でも料金は五千八百二十円となっている。

近鉄は新型車両で、快適性に磨きを掛けて新幹線との差別化を図った。都司社長は「一般席でもゆったりと乗車できる。より安い価格で乗車できるのも新幹線と対抗できる」と胸を張った。

二〇一三年にデビューした観光列車「しまかせ」の好調も、新型車両投入のきっかけの一つ。名阪特急の利用者は一九九〇年をピークに減少傾向にあるとい

い、都司社長は「しまかせをたくさんの人に利用してもらい、鉄道車両の一つのあり方を確認した。東京五輪などを前にした良いタイミング。名阪特急の乗客を増やしたい」と述べた。

東京―名古屋間では二七年にリニア中央新幹線が開業予定。「いったん名古屋で降りる人が増える。大阪へ足を延ばす人に、できるだけ使ってもらいたい。たとえリニアが大阪まで延伸したとしても、速さよりも快適性を選択する人たちに利用してもらえるのではないか」と期待を込めた。

問1：名阪特急と東海道新幹線に関する情報を比較しましょう。

	座席間隔等	スピード	乗車料金
名阪特急	() cm (プレミアム車両) ・バックシェルあり	近鉄名古屋―大阪 難波間 () 分	() 円 (プレミアム車両)
東海道 新幹線	() cm (グリーン車)	名古屋―新大阪間 () 分程度	() 円 (自由席)

発展：あなたは二つの電車をどのように利用したいと考えますか。情報を比較し、根拠をもって答えましょう。